

No. 2189

奇岩・巨岩と展望の山 瑞 牆 山

実施日 平成17年6月4日～5日(土～日)
晴ノにわか雨
リーダー 涌井 良明
参加者 横山 玲子、岩井 康子、小池 述史、
馬場 清士、木代 久雄、鈴木 政三
ゲスト 金田 彩恵子、鈴木 由美
計9名
コースタイム 1日目 高尾(10:00～10:20 小淵沢行普通) 葦崎駅(12:25～13:32 バス) 瑞牆山荘(15:00)泊
2日目 瑞牆山荘(7:00)富士見平(7:50～8:00)天鳥川源流(8:34～8:40) 瑞牆山頂(10:07～10:30)～天鳥川源流(11:38～12:15 昼食)富士見平(12:40～12:54)瑞牆山荘(13:24～14:20 バス) 葦崎駅(15:47～16:02 高尾行普通)

費用 交通費 新宿～葦崎(往復) ¥5,040
葦崎～瑞牆山荘(往復) ¥4,000
宿泊費 ¥8,610(税込)
費用合計 ¥17,650

梅雨入り前の好天狙いで計画したが、概ね目論みは成功した。天気予報よりも好天で夏本番を思わせる葦崎から、期間運行の瑞牆山荘直行バスに乗る。山荘での前夜祭はご想像に任せます・・・ 皆さんアルコールはほどほどがいいですよ!(^_^)

翌朝、鈴木(政)さんと合流、7時快晴の山荘を出発、前夜の雷雨に洗われ一段と鮮やかな緑を楽しみながら歩く、



やや急な登りをこなし瑞牆山の展望台だったところへ出るが、今は木の間越しにちらっと見えるだけになってしまっていた。右へしばらくで富士見平、小屋は現在無人小屋だそうだ。我々はここから左へ向かう。

木々の間から瑞牆の岩峰を見ながら平坦に尾根を絡み、小川山への分岐から左に天鳥川へ下る。下りきって沢を渡り(この日は涸沢)急登に備えて休憩。ここから山頂まではほぼ一本調子の登りであるが、急な登山道を花道に変え



る仕掛けに疲れも感じないくらい楽しく歩けた。今年の山は本当に花が美しいかも知れないと思いつつ、今が盛りの、これでどうだ!!と言われていたような見事な石楠花の群落の道を山頂まで休憩なしで一気に登りきった。

流石、百名山、人はやはり多い。期待した大展望は湧き出した雲に囲まれて金峰五丈岩はちらちら、八ヶ岳は編笠の裾野を見せているだけである。しかしそこは展望の



山、遠目はともかく、ぐるっと遮るものがない眺めは飽きることのない素晴らしさである。

雲行きが心配されたので、後ろ髪を引かれながら20分程で山頂を辞して往路を下りに掛かるが、人気の山はまだまだ続く登山者と行き違いも多く、岩っぽく狭い場所での待機することもしばしばであったが、今度は違った

角度からの石楠花にうっとりしながら快調に天鳥川まで一気に下る。ここでやや遅めの昼食にする、この頃には雲



の切れ目は僅かになり薄日が漏れる程度になっていた。ここから、登り返し後、富士見平への横歩きでは頭上は黒い雲が多くなり、瑞牆山頂にも広がりつつあった。富士見平から下りに掛かる頃にはポツポツときたが、残りは瑞牆山荘までを残すのみであり気分も軽く30分で到着、待っていたかのように青空も復活。鈴木(政)さんは車で帰宅のためここで解散、当初からバス待ち時間を織り込んでいたかのように、瑞牆山荘のテラスで下山祝いの生ビール、気分すっきりリゾート。

雨上がりの青空と新緑の森を背景に、かじかの声をつまみに今日の歩きや山の余韻に浸るひと時。こんなひたすら楽しい山行で良いのでしょうか!(^^)! ?? いいんです!!